杉並区議会予算委員会でのほらぐちともこ意見開陳より

原発事故は終わっていない！　オリンピックやめろ！

原発事故は終わっていません。安倍前首相の「アンダーコントロール」宣言で東京五輪は呼び込まれましたが、放射性物質や放射能汚染水は管理されているどころか今なお膨大に垂れ流され、「復興五輪」の名の下に帰還の強制と被災地切り捨てが進んでいます。東京オリンピックはただちに中止すべきです。

ましてや世界はコロナ禍のただ中にあります。東京オリンピックにかかる予算をすべて医療支援と生活保障に充てるべきです。

コロナ禍の労働問題は深刻です！

特に深刻なのは女性労働者の現実です。総務省が発表した１月の労働力調査によると、非正規職の女性労働者は前年同月比 68 万人減で、減少幅は男性（22 万人減）を大きく上回りました。緊急事態宣言下の休業などの影響は、非正規職労働者、とりわけ女性や青年を直撃しています。

医療も介護も社会保障だ！

あらためて、田中杉並区長の「トリアージ発言」を弾劾します。コロナ禍で命がけで働く医療労働者に対して「生かす命」と「切り捨てる命」の選別が強制されることなど、絶対に許してはなりません。これは現場の医療労働者の誇りを踏みにじるだけではなく、医療の性格を根本から転換させ、命に優劣をつける優生思想に直結するものです。田中区長は東京都に対するトリアージ基準策定の要請を撤回すべきです。

児童館潰すな！　再開発・道路拡幅をやめろ！

杉並区が進める児童館全廃に絶対反対です。新型コロナ対策に一切を集中させるべき時期であり、住民合意もない中での土地区画整理事業と関連事業はただちに中止すべきです。(3 月 10 日)

ほらぐちともこ（洞口朋子） 杉並区議会議員
会派：都政を革新する会
都市環境委員会／文化芸術・スポーツに関する特別委員会

〈プロフィール〉
1988 年宮城県仙台市生まれ。2003 年イラク戦争時、中学生で反戦デモに参加。2008 年法政大学に入学。全学連として反戦運動や学生自治を復権させる活動を行い、2010 年に無期停学処分。処分後も改憲・戦争・貧困に反対して奮闘。2019 年 4 月杉並区議会議員選挙で 3275 票を獲得、18 位で初当選。

毎日発信！
一緒に社会を変えよう。

@HoraguchiTomoko

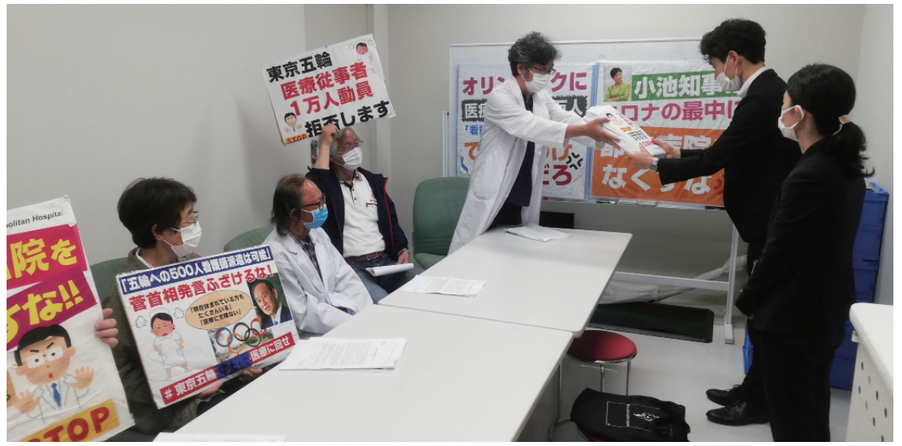
〔阿佐ヶ谷事務所〕〒 166-0015 杉並区成田東 5-39-11　ビジネスハイツ阿佐ヶ谷６０３
TEL & FAX03-3329-8813（都政を革新する会）
メール info@horaguchitomoko.jp　ホームページ https://horaguchitomoko.jp

杉並区議会議員 洞口 朋子 都政を革新する会

ほらぐちともこ通信 区議会レポート

2021 年
5 月 22 日発行
第９号

「都立病院つぶすな」署名を都知事あてに提出しました！



医療労働者を先頭に1万を超える署名を提出。都立病院の独立行政法人化（民営化）は今からでも撤回させることはできます。反対の声を上げるのは今です！

5 月 18 日、都庁に「五輪中止」申入れと「都立病院つぶすな」署名第４次提出行動が行われました。署名提出数は総計１０３６０筆で、１万筆を突破！区民の皆さんの思いが大きな力となりました。署名へのご協力、ありがとうございます。

新型コロナの感染者は国内で 65 万人を超え、死者は毎日 100 人規模で死者が出ています。公立病院が独法化されている大阪では、入院出来ずに自宅で死亡する人が急増しています。今まさに医療崩壊が起きているのです。オリンピックへの医療従事者の派遣要請など行える状況ではありません。

しかし小池都知事は「大会を何としても成功させていく」とあくまでオリンピックの開催に固執しています。田中区長もオリンピックについては口をつぐんだまま。都民や区民の命よりオリンピックなのでしょうか。必要なのはオリンピックより公的医療拡充です。

小池都知事は昨年３月都立病院独立行政法人化を決定しましたが、都立病院で働く医療労働者や都民の反対の力で、未だ条例の枠組みもできていません。医療を金儲けの競争の渦に投げ込む独法化は絶対に止められます。杉並からもさらに声を上げていきましょう！

命を奪うな！　仕事を奪うな！ つながって社会を変えよう！

３月７日、新宿で「女たちの大リレートーク＆デモ」が開催され、ＪＲ新宿駅東口には青年から 80 代まで世代を超えた人々が結集。リレートークでは、コロナ下で生きられない現実への怒りがあふれだし、「差別や分断の根源は命より金の資本主義だ！」と発言が続きました。軍事クーデターへの抗議行動を闘うミャンマーの女性からの支援・連帯の訴えも。また、全学連の女子学生は「女性は差別・抑圧されてかわいそうなだけの存在ではなく、社会を変える力をもっている存在だ！」と訴え大きな拍手を受けました。

女性が多い非正規職場では不当解雇や退職勧奨などが相次いでいます。今こそ女性が先頭に立って声をあげていきましょう。

その後の新宿の繁華街を一周するデモには、沿道から多くの声援が寄せられました。【写真上】

生き抜くために闘おう！メーデー

５月１日、東京錦糸町駅前で「生き抜くために闘おう！メーデー」が開催されました。

今、非正規職労働者は「低賃金で長時間や夜間に働かなければ生活できない」「いつ都合よく解雇されてしまうのか」という状況に置かれています。正社員でも、人員削減や合理化で長時間労働を強いられ、「いつか過労死する」ような職場が当たり前のように広がってきました。

現状を変える力は私たち労働者の中にあります。社会が成り立つのも、人間が生活していけるのも、すべて現場で働く労働者がつくり出しているからです。【写真右】

スガをたおせ！　オリンピックやめろ！ 改憲・戦争絶対反対！

３月 21 日、「改憲・戦争阻止！大行進」実行委員会が呼びかけた集会とデモに５２０人が結集し、銀座の街に怒りのコールを響かせました。

菅政権は、コロナ禍にもかかわらずオリンピックを強行しようとしています。私たちのいのちや生活よりも利権を優先する菅政権は、改憲のための国民投票法改定案の採決など改憲と戦争への動きも強めています。この日の集会では「歴史を動かすのは私たち。この世界を変えるために声を上げよう」「改憲・戦争絶対反対の声を高く上げることが今ほど求められている時はない」とアピールされました。【写真左】